

— 主力製品「ASTERIA WARP」バージョンアップ —
コストパフォーマンスに優れた新ラインアップ「ASTERIA WARP “Core”」を新規追加
 あらゆる企業・導入シーンに適した機能仕様・価格体系を実現！
 ニーズの高いクラウドサービス連携アダプタを拡充！
 ～ 2020年には国内市場シェア（出荷数量ベース）50%を目指す。～

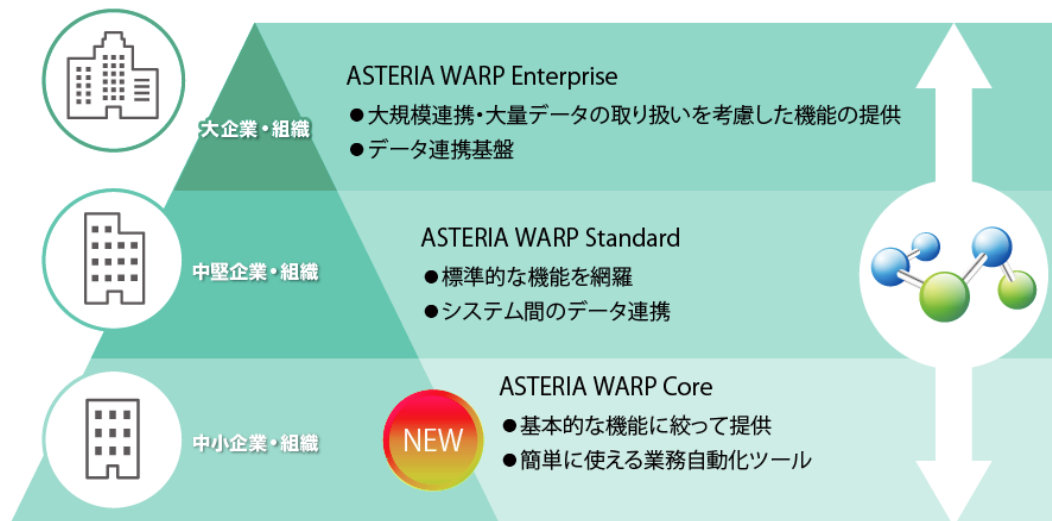
インフォテリア株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：平野洋一郎、証券コード：3853、以下、インフォテリア）は、国内 EAI/ESB^{*1}ソフト市場で10年連続シェア No.1^{*2}を達成している「ASTERIA WARP（アステリアワープ）」のバージョンアップを実施します。ニーズの高いクラウド連携アダプタの機能強化や、「ASTERIA WARP “Core”（アステリアワープ・”コア”）」を新しくラインアップした新バージョンを2016年10月31日より発売開始します。

■ 新ラインアップを発売する背景

民間調査機関のテクノ・システム・リサーチの調査^{*3}によると、企業でのクラウドの利用が進むにつれてクラウドと社内システム等とのデータ連携需要が増加し、国内 EAI/ESB ソフト市場の拡大が予測されています。^{*3}

さらに最近の傾向として、業界に特化した仕様や業務単位ごとに細分化されたクラウドサービスが増えていることから、幅広い企業・業界でクラウドの普及が進んでいます。こうした背景のなかで、データ連携基盤を全社規模ではなく、企業の事業所レベルや組織（業務単位）で導入したいという新たなニーズが増加し、より小規模なシーンでもデータ連携ソフトの導入が検討され始めています。

インフォテリアでは、クラウドの普及に伴うこれらのニーズに応え、新たな顧客開拓を強かに推し進める上で ASTERIA WARP のバージョンアップと同時に、コストパフォーマンスに優れた新ラインアップ「ASTERIA WARP “Core”」を新規追加。あらゆる企業規模・導入シーンに対応できる機能仕様・価格体系を実現しました。また、ASTERIA WARP 専用連携アダプタのラインアップ・機能強化も行い、ニーズの高いクラウドサービス連携を実現する10種類の新たな連携アダプタを提供開始します。さらに新バージョンでは、必要項目を入力するだけでフローを雛形から作成する「テンプレート機能」も追加されるなど、ユーザーの方がより簡単にデータ連携ソフトを使うための機能が追加されています。



< ASTERIA WARP 新バージョン紹介特設サイト >

<https://www.infoteria.com/jp/warp/feature/warp1610/>

■新ラインアップ「ASTERIA WARP “Core”」の特長

特長	内容
サブスクリプション価格	クラウド時代にマッチした、月額利用料での課金体系
基本機能に特化	基本的な機能に集約することで手軽に利用可能
2つのラインアップ	利用形態と予算に応じた2つのラインアップ展開

<新ラインアップの機能・仕様>

	ASTERIA WARP “Core”	ASTERIA WARP “Core+”
ファイル連携	○	○
データ変換	○	○
REST/Web API※4連携	○	○
データベース連携	—	○
メール送付	—	○
価格	30,000 円～/月	60,000 円～/月

■今回のバージョンアップにより追加される専用アダプタ

カテゴリ	対応サービス
CRM / SFA	Microsoft Dynamics CRM、Salesforce
SNS	Facebook、Twitter
マーケティング/データ分析	Google アナリティクス、Google AdWords、 Google BigQuery
情報共有	Microsoft SharePoint、 Google Apps、Google スプレッドシート

■今後の ASTERIA ビジネスの展開

インフォテリアの ASTERIA ビジネスは順調な拡大を継続しており、現在の導入社数は 5,600 社を突破するとともに、最新の市場調査※3においても 10 年連続シェア No. 1 を継続するなど業界のリーディングカンパニーとしての地位を更に強固なものにしています。今後も、クラウドの普及に伴う企業データ連携ニーズの拡大に対応する上で多様な利用シーンにマッチする機能を拡充し、より幅広い企業における ASTERIA シリーズの普及を促進していく方針です。

新ラインアップ「ASTERIA WARP “Core”」は、2020 年度までに **1,200 ライセンスの出荷（累計）**を計画するとともに、ASTERIA シリーズ全体での**国内市場シェアを 50%以上（出荷数量ベース・2020 年）**に高める目標を掲げています。

（2015 年における ASTERIA シリーズ国内市場シェア・出荷数量ベース：38.5%）※3

なお、ASTERIA WARP “Core”をいち早くユーザーの皆さまに体感いただくために、全国 6 会場で体験セミナーを開催します。

<新バージョン体験セミナー日程（全国 6 会場で開催）>

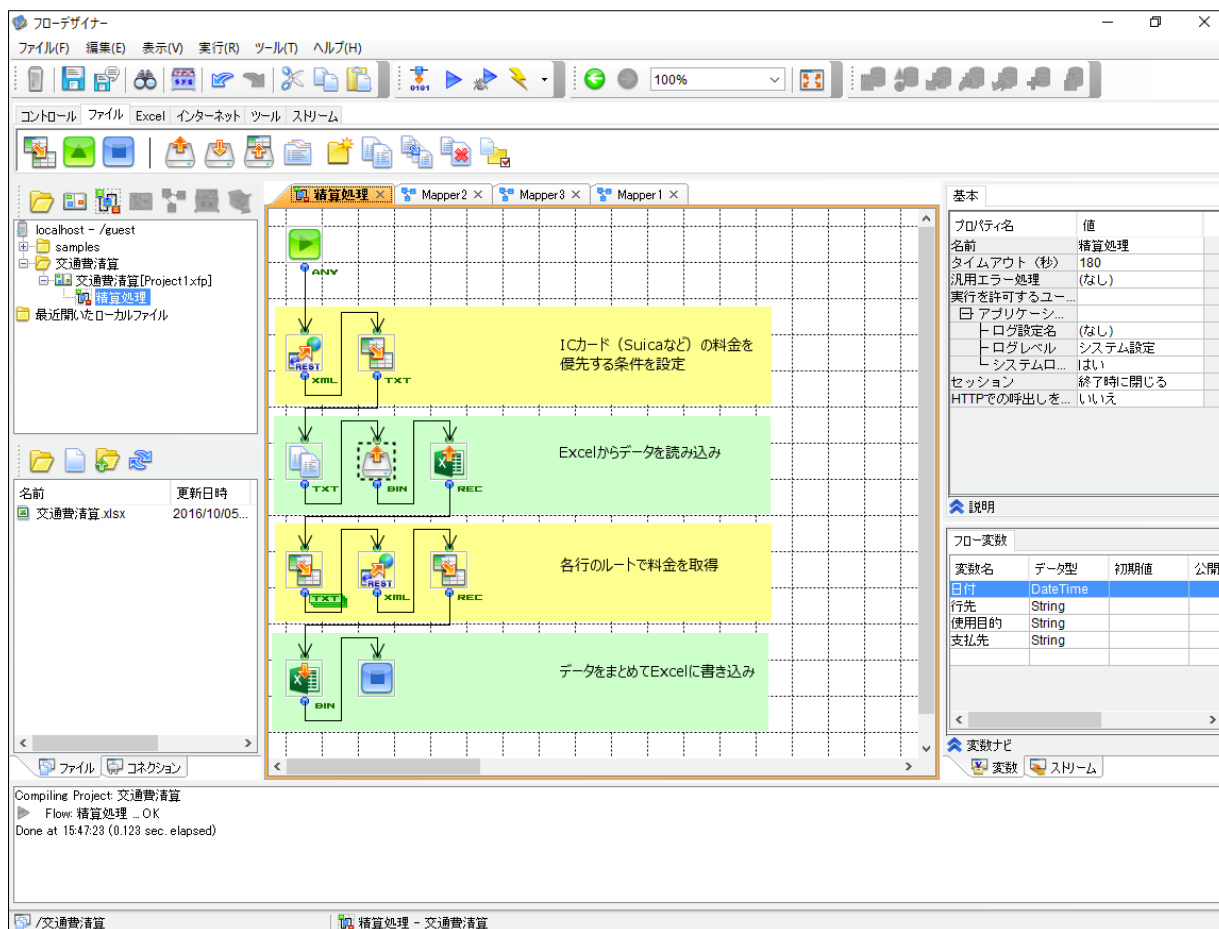
日程	開催地区	会場名	時間
11/ 8 (火)	愛知県名古屋市	名古屋ルーセントタワー16F	15:30～17:30
11/15 (火)	福岡県福岡市	大博多ビル 12F リファレンス大博多貸会議室	
11/18 (金)	東京都品川区	インフォテリア株式会社内 セミナー会場	
11/29 (火)	北海道札幌市	読売北海道ビル 3F ACU-Y	
12/ 6 (火)	宮城県仙台市	仙台トラストタワー5階 トラストシティ カンファレンス・仙台	
12/15 (木)	大阪府大阪市	ブリーゼタワー8階	

<セミナー申し込み、評価版等の入手は以下サイトにて>

ASTERIA WARP 新バージョン紹介特設サイト

<https://www.infoteria.com/jp/warp/feature/warp1610/>

「ASTERIA WARP “Core”」画面イメージ 当社独自のフローデザイナーがノンプログラミングでデータ連携を実現



■ 「ASTERIA シリーズ」について (Web サイト <https://www.infoteria.com/jp/asteria>)

「ASTERIA シリーズ」は、異なるコンピューターシステムのデータを、ノンプログラミングで連携できる ASTERIA WARP を主力製品とするミドルウェアです。メインフレームやクラウド上のサーバーから表計算ソフトまで、様々なシステム間の接続とデータの変換を行うロジックを複雑なプログラミングなしで行えることが評価されています。



■ 「インフォテリア株式会社」について (Web サイト <https://www.infoteria.com/>)

1998年に国内初のXML専門ソフトウェア会社として設立されたインフォテリア株式会社は、企業内の多種多様なコンピューターやデバイスの間を接続するソフトウェアやサービスを開発・販売しています。主力製品の「ASTERIA」は、異なるコンピューターシステムのデータをプログラミングなしで連携できるソフトウェアで、大企業、中堅企業を中心に5,646社(2016年6月末現在)の企業に導入されています。また、「Handbook」は、営業資料や商品カタログ、会議資料などあらゆる電子ファイルをスマートフォンやタブレットで持ち運べるサービスのスタンダードとして、1,060件(2016年6月末現在)の企業や公共機関で採用されています。

※1：企業データ連携のこと。EAI は、Enterprise Application Integration の略、ESB は、Enterprise Service Bus の略。

※2：出荷量ベース。出典は、テクノ・システム・リサーチ「2016年ソフトウェアマーケティング総覧 EAI/ESB 市場編」。

※3：テクノ・システム・リサーチ「2016年ソフトウェアマーケティング総覧 EAI/ESB 市場編」によると今後は企業におけるクラウドコンピューティングの利用が進むにつれて、社内システムとパブリック・クラウドとの連携、異なるパブリック・クラウド間の連携へのニーズが高まっていくと予測されています。特にパブリック・クラウドの利用者拡大に伴い、クラウドを利用することへの抵抗感が薄まってきていると考えられます。社内システムとパブリック・クラウドとの連携では、システム間で API^{※4}が完全に統一されていないため、EAI/ESB 製品を利用することにより迅速な連携とメンテナンス性向上の効果が期待されます。各種パブリック・クラウド対応を進めているベンダーも増加しており、今後クラウドとの連携需要の増加に合わせて、さらなる市場の拡大が予測されています。

【参考データ：EAI/ESB 市場規模推移／見通し】

単位：数量（サイト数）、金額（百万円）

項目	2015年 [実績]	2016年 [見込]	2017年 [予想]	2018年 [予想]
数量（前年比）	2,111 (99.7%)	2,188 (103.6%)	2,236 (102.2%)	2,311 (103.4%)
金額（前年比）	14,371 (104.6%)	14,697 (102.3%)	15,038 (102.3%)	15,665 (104.2%)

（出典：テクノ・システム・リサーチ「2016年ソフトウェアマーケティング総覧 EAI/ESB 市場編」）

※4：Application Programming Interface の略でソフトウェアコンポーネントが互いにやりとりする際に使用するインタフェースの仕様。

<プレスリリース 掲載 URL>

https://www.infoteria.com/jp/news/press/2016/10/06_01.php

【プレスリリースに関するお問い合わせ先（報道機関窓口）】

インフォテリア株式会社 広報・IR室 長沼史宏

TEL:03-5718-1297 / FAX:03-5718-1261 / E-mail: press@infoteria.com

【製品に関するお問い合わせ先】

インフォテリア株式会社 ASTERIA 事業本部 マーケティング部 製品担当：森 一弥

TEL:03-5718-1250 / FAX:03-5718-1261 / E-mail: pm@infoteria.com

インフォテリア、ASTERIA、Handbook はインフォテリア株式会社の登録商標です。
本文中の商品名は、各社の商標または登録商標です。